

あとかぎ

理学系研究科・理学部ニュース 36 巻 2 号をお届けします。トピックスには、今回で 4 回目となる理学部海外渡航制度による 10 名の学部生の 9 日間の体験報告を掲載しました。この制度がこれからも続くことが望めます。本号から新しいシリーズ：科学英語を考える「the ってどういう意味？」が始まりました。これは学部生・院生のみならず教職員にとっても連載を心待ちにしていだけるような企画になると考えています。

私は、この 4 月から理学系研究科広報委員会の委員となりました。忙しい教員の状況を考慮してか、広報誌であるこのニュースの編集責任者は毎号交代するという方式をとっているとのこと。というわけで、今回限りの編集責任者を仰せつかりました。編集責任者として、まずお詫びしなければならないのは、前号に大きなミスがあったことです（2 ページを参照して下さい）。今回のニュースについては、ミスのないよう、さらに魅力的な冊子となるよういくつかの工夫と努力は致しましたが、まだまだ改善の余地はあり、力不足をお詫びします。

昨今三菱自動車の問題などをはじめとして、「責任」という概念が多くの人々の精神からなくなりつつあるのではないかと危惧しています。誤りは起こってしまったら仕方のないことですが、起こらないようなシステムを作る、と同時に個々人が自分の仕事の中で最善を尽くし、常に向上を目指すという精神（謙虚に、そして誠意を持って勤勉に）が、責任を持った行動をとれる社会の構築には必須です。これは、科学という高度な知的作業にとりくむ理学系・理学部において、最高の教育と研究を実現するためにも不可欠の精神であると思います。質の高い仕事をするには、そのコミュニティーを構成するメンバーの意識の高さが求められます。このニュースはその意味で、理学系・理学部の構成員の意識を内外に示すという重要な役割を担っているものの一つといえます。その質の向上のために、ニュースのあり方を含め、編集担当の広報委員（以下の電子メール宛）に皆様のご意見を是非お聞かせください。

真行寺千佳子（生物科学専攻 助教授）

第 36 巻 2 号

発行日 2004 年 7 月 31 日

発行 東京大学大学院理学系研究科・理学部
〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1
email kouhou@adm.s.u-tokyo.ac.jp

編集：理学系研究科広報委員会

牧島一夫（物理学専攻）maxima@phys.s.u-tokyo.ac.jp
佐々木晶（地球惑星科学専攻）sho@eps.s.u-tokyo.ac.jp
真行寺千佳子（生物科学専攻）chikako@biol.s.u-tokyo.ac.jp
米澤 徹（化学専攻）yonezawa@chem.s.u-tokyo.ac.jp
鈴木和美（庶務掛）ksuzuki@adm.s.u-tokyo.ac.jp
岡田小枝子（庶務掛）s-okada@adm.s.u-tokyo.ac.jp

HP 担当：
名取 伸（ネットワーク）natori@adm.s.u-tokyo.ac.jp
HP & ページデザイン
田中一敏（ネットワーク）kazutoshi@adm.s.u-tokyo.ac.jp

印刷・・・・・・三鈴印刷株式会社
